



延べ床面積6,580㎡の新2nd 物流センター。屋根には144枚のソーラパネルを設置している。

## レアメタルの保管に自動倉庫を導入。 業界屈指の物流拠点で、安定的な在庫・供給を目指す

自動車やハイテク産業に不可欠なレアメタル（希少金属）一。ハイブリッド車のモーター用焼結磁石に使われるネオジムは3年で6倍、ニッケルやコバルトなども近年価格が急騰したのは記憶に新しいところ。これらの資源を輸入に依存している日本では、レアメタルのリサイクルに注目が集まっています。

レアメタルの大手専門商社（株）メタルドゥ殿（本社：大阪市西区）は2009年3月、神戸市中央区のポートアイランドに業界最大規模のスペースを誇る物流拠点、「新2nd 物流センター」を稼働。マテハン設備には、業界に先駆けパレット自動倉庫「コンパクトシステム（CS）」を導入しました。

### 取扱能力を年間4万5,000tに倍増

スクラップから回収されたレアメタルは、購入する特殊鋼メーカーにとって一般的に新材より廉価。例えばニッケルは10～20%、コバルトでは30～40%程度、安く入手できます。ただ、リサイクル品は大ロットほど単価が高く、逆に小ロットほど低くなる傾向があります。同社としては品質の高さもさることながら、スクラップ材を一定量確保・在庫し、リサイクル品をスムーズに供給することにも注力しています。

そこで、手狭となっていた旧2nd 物流センター（兵庫県尼崎市）に代えて新2nd 物流センターを建設。年間の取扱能力は、従来同社の中核物流拠

点であった「1st 物流センター」（大阪市此花区）と合わせて、2倍強の4万5,000tを有するようになりました。

新センターはCSのほか、最新の放射線検知ゲートやプラズマ切断機、各種分析装置も装備。入荷から仕分け・前処理・加工・梱包・保管・出荷まで、最短3日でスクラップ材を商品化しています。

### リサイクル品の入出庫を迅速化。在庫管理精度も向上

約23億円の総工費を投じた新物流拠点の敷地面積は1万2,770㎡。メインヤード・ストックヤードに加えて、3階建ての事務所棟などで構成しています。CSは間口18m、奥行き22m、梁下9mのスペースでストックヤードに設置、スタッカークレーン4台、390パレットを格納します。

リサイクル品はドラム缶、もしくはフ

レコンバッグに封入して取り扱います。従来、ドラム缶は直接、フレコンバッグはポストパレットに積載して段積み保管。入出庫作業はフォークリフトで行っていました。CSの導入により、荷繰り作業は不要となりスピーディな入出庫を実現したことに加え、高層化で天井空間をフル活用。ストックヤードの省スペース化を図りました。さらに、コンピュータ管理により在庫情報の精度は大幅に向上しました。

「新センターは、経済危機に伴う急激な市況低落の中“嵐の中の船出”となりましたが、大局的にはレアメタルの需要増という潮流は不変です。今こそスクラップ材の回収ルート拡大に一層注力し、お客さまが新材を購入すると、ほぼ同等の量・時間で提供できる体制を構築していきます」（代表取締役社長 藤田 國廣様）



最大積載質量は1.5t/パレット、総格納能力は約600tのCS。パレットからはみ出したり、荷崩れしそうなフレコンバッグは、ポストパレット（左）に積載して格納する。